コミュニティカルテ（地域の診断書）の更新について

別紙１

コミュニティカルテを更新する背景

少子高齢化による地域の担い手の減少、共働き世帯の増加等により、全国的に地域における住民同士の交流機会の減少や地域連帯意識の希薄化が進んでいます。そのため、住民同士がお互いに支え助け合い、地域の課題を地域自らで解決していくことの重要性が再認識されています。

このような状況の中で、今後、地域のコミュニティ機能を維持・強化し、活力あるまちづくりを進めていくためには、地域ごとの活力を向上させることが基本となります。このことから地域の課題を把握し、町と地域が相互に課題を共有するためのコミュニティカルテの作成（更新）を進めています。

令和６年度の取り組み

令和６年５～７月、令和７年１月～３月の２回
コミュニティカルテを基に区・自治会の役員の皆さんにヒアリング・話し合い

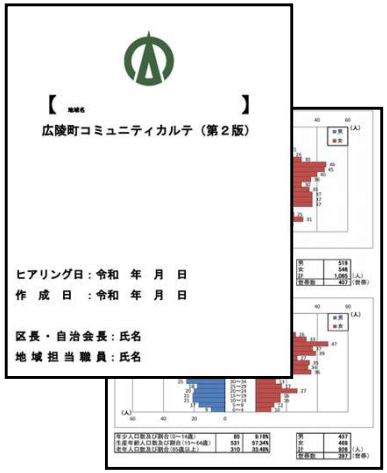
地域のええとこ・あかんとこの再認識、強み・弱みの再発見
→地域活性化策を地域と行政みんなで考える

区長・自治会長が代わっても地域担当職員が代わっても、地域のことが分かる地域の診断書・引継書になる。

令和７年度の取り組み（予定）

令和４・５・６年度の取り組みをもとに、引き続き地域担当職員が持参するコミュニティカルテ（第２版）を基に地域の良いところや課題を記載していきます。

５月以降、地域担当職員が各地域に出向きますので、ご対応くださいますようお願いします。



地域担当職員については、区長・自治会長ハンドブックＰ６・７をご覧ください。

◀過去のコミュニティカルテ

すぐには解決できませんが、課題の解決方法や考え方を職員と共に話し合い、考える伴走型支援を進めています。